

## 593 京都報告会

〔「法学新報」第30巻5（341）号 大正9年5月1日〕

○京都報告会 岡野中央大学長は四月一日暮参の爲め京都に赴かれたるを機として同五日八新亭に同地の学员諸氏を招待して中央大学の大学令依拠に関する報告会を開催したり来会者は井手力之助、池田豊三郎、渡邊明、川上清、兼松謙太郎、多田常太郎、田原七三郎、小林種吉、金志鍵、柚木角衡、岡野敬次郎、佐藤正之の諸氏にして席定まるや岡野学長は起て左の主旨を演説せらる

「我中央大学の大学令依拠の問題は本月に入りて去る一日教育委員会に於て認可せらるべきことに可決になりました未だ学校としては公然の指令には接しませぬか文部省に於て夫夫手続を致し御裁可を経ねはならぬ次第でありますから目下其の手續中に属し遠からず指令に相成ることと存します仍て此度は其の茲に至りましたる経過を叙して諸君と喜を分かち我中央大学の洋洋たる前路を祝せんと欲するのであります

昨年十一月一日我一行当地に参りまして也阿彌「ホテル」に会合、当時の状況を申述へて諸君の御声援を願ひましたる処深厚なる御同情を得て胸中万斛の謝意を懐て居りました爾來各地に於ける學員諸君の熱烈なる御援助を得て稍々前途の見込も立ちましたが固より樂觀を許さず何分にも五十万乃至七十万の巨額なるを以て俄に之を蒐むることの難きは当然のことでありまして諸君の愛校心に訴へたること一再ならず試みましたけれども而かも不自然なる勧誘は一切差控ゆることを方針として守り来りました然るに其の愛校心の旺盛なる実に意想の外でありまして昨年の末に至りまして略々文部省の内規に定むる基金額に達するに至りました去去大学令に遵拠する以上は予科の為に小教室を増築する必要もあり又図書館の設備も之か完成を図らねはならぬ就中尤も憂慮したるは図書であります俄に多数の洋書を得ること現下の状態に於て甚た容易ならず而も是等拡張は昨秋來之か計画を樹てましたけれども之に要する金額も相当に多大にして現在の家屋の買収、立退料並新築費何れも無くて叶はぬ費額でありまして大学現在の現金を以て支弁すること能はず本年四月に大学と為るには爾後三ヶ月間に基金の応募額も之を支弁するに足らざるへからず加之払込額は四月に供託すへき十一万七千円外に右の費額を支弁するの準備を要するのでありまして此の如き重大なる問題は到底理事者に於て専決すること難く本年の四月とするか一年を延期するかは評議会の意向に従て之を決定するを妥当なりと考へまして昨年末に評議會を召集しました而して

当時三宅君か最も熱心なる急施論者でありまして同君の所説に大に信賴すへき力の含蓄あるより終に同君と理事者に一任するの議に決したのでありました直に同君と協商の歩を進めたるに供託金の外に臨時支弁に要すへき費額は単独に相当の途を立つへきの決意を語られ殊に木造の研究室閲覧室も書庫と共に鉄筋「コンクリート」に改むへしとの意見を提出せられ之に要する総額二十四万五千円は一手に引受けらるることと為りたれば理事者は同君の高義に頼りて茲に決心の臍を固め予算拡張計画を議定して文部省に認可申請書を提出しました此認可は臨時教育委員会に諮問すへき案件でありまして昨年早慶二校の附議せられたる際に委員会に於て種種の議論のありたるに顧慮して文部当局のものも綿密の調査を遂げ照會回答を重ねること数次であつて他の諸校も同様でありまして漸く三月十八日に至りて第一回の委員会を開くことになりました二十五日第二回、本月一日に第三回此の三回の會議を重ねて可決になつたのであります私は翌二日朝特急で東京を出発致しました茲に少く御参考に供する為委員会に於ける審査の模様を述べますか何れも大体に於ては認可の止むへからざるものと認めましたけれども或は図書就中洋書の備付か十分であるとか、専任教授の数が不足であるとか、予算せる俸給少額にして之を以て果して相当の学者を招聘することか出来るか殊に専任としては其の顔触か博士の数少くして貧弱であるとか、専任教授とは其の校の中心として本拠を構へ所謂學術の蘊奥を究むるの樞軸たるへきに何れも繁忙の人である

とか種種の質問が出ましたか、尤も委員連の多少の疑惑を抱きたるは基金の将来の払込果して確實にして信頼するに足るへきか将来払込なき場合に於ては文部当局は如何なる態度決心を以て之に当るかの問題でありました文部当局は出来得る限相当の策を講せしむへしと答弁したるも之を以て満足を表せず愈払込なき場合に如何なる制裁を加ふるの決心なるかを追窮して止まず遂に当局は其際には閉鎖を命ずるの外なしと断言しました私は無論斯なくてはならぬことと思ひます閉鎖の辞は当らざるかと思ひますか認可を取消して然るへきものと考へます是れは蓋し形式的に応募せしめたのではあるまいかなと諸種の風評を耳にしたるより生したる疑惑と思ふのであります

諸君一昨年大学令か世上の問題と為りたる以来諸君も中央大学の前途に付ては深く御憂慮に相成りたることと存しますか前述せるか如く我中央大学も終に官私同等の原則の下に立ちて官立大学と比肩し之と拮抗して私立大学の真価を發揮するを得るの基礎の定まりたるは皆是れ學員諸君愛校心の結晶であります諸君と共に慶賀するのみならず諸君も定めて御満足のことと想察致します私は「基礎成れり」と特に明言しまするは現状を以てしては如何に鼻負目に見ても完璧なるものなりとて誇ることは出来ませぬ将来実力を以て競争せんと欲せは是より以後建設工事を十分に施し内容の改善充実を謀らねはならぬは勿論のことと思ふのであります当に経営に當る者の奮励努力は当然なるも學員諸君に於かれても中央大学は

諸君の共有物でありますから其觀念を以て十分の御同情と御鞭撻を願はざるを得ぬのであります而して特に諸君の御留意を願ひたきは我中央大学として其の講授する所の学科に於て他の同種の学校を凌駕し陣頭に立ちて私立大学の面目を發揚するの覚悟を要する以上は其の由る所は一に基金の充実に在り一例を挙げれば留學生の派遣、専任教員の養成の如きは差当て当に行ふへきの施設の一なるへし諸君は御申合下されて他の學員諸君にも能く主旨の存する所を御宣伝の上御寄附金に付ての年賦は年限を短縮し可成速に御払込下さるる様御助力を願ひます

終に臨み今夕の御光臨に対して感謝し尙将来の御援助を願ひ茲に諸君の御健康を祈ります」

之に対して多田常太郎君は學員を代表して謝辞を述べ夫れより献酬歛を罄し母校の万歳を祝して散会したり